

# ハイティング代数

久木田水生

Cate 研 2011 年 2 月 18 日

ハイティング代数 (Heyting algebra) は束 (lattice) の一種であり, 以下の数学的構造と密接な関係を持っている.

- 直観主義命題論理の理論
- 単純型理論
- デカルト閉圏 (cartesian closed category)
- 位相空間の開集合系

## 1 束

**Definition 1.1** (束). 順序集合  $(L, \leq)$  が束であるのは, 任意の  $x, y \in L$  に対して  $\{x, y\}$  の  $L$  における上限および下限が存在するときである. これらはそれぞれ  $x$  と  $y$  の結び *join* および交わり *meet* と呼ばれる.

しばしば単に  $L$  によって束  $(L, \leq)$  に言及する. 結びと交わりはそれぞれ  $x \vee y, x \wedge y$  と表記される. また  $L$  に最大元, 最小元が存在するときはそれぞれ  $1, 0$  によって表す.

**Example 1.2.** (1) 任意の集合  $S$  に対して  $(\mathfrak{P}(S), \subseteq)$  は束である.  
(2) 任意の全順序集合は束である.

**Exercise 1.3.** Example 1.2 (1)(2) において, 結びと交わりが何かを考えよ.

**Lemma 1.4.**  $L$  は束,  $x, y, z \in L$  とする. このとき以下が成り立つ.

1.  $x \wedge y = y \wedge x, x \vee y = y \vee x$  (交換律)
2.  $x \wedge x = x = x \vee x$  (冪等律)
3.  $x \wedge (y \wedge z) = (x \wedge y) \wedge z, x \vee (y \vee z) = (x \vee y) \vee z$  (結合律)
4.  $x \wedge (x \vee y), x \vee (x \wedge y)$  (吸収律)
5.  $x \leq y \iff x \wedge y = x \iff x \vee y = y$
6.  $y \leq z \implies x \wedge y \leq x \wedge z$  かつ  $x \vee y \leq x \vee z$  (単調性)
7.  $(x \wedge y) \vee (x \wedge z) \leq x \wedge (y \vee z)$
8.  $x \vee (y \wedge z) \leq (x \vee y) \wedge (x \vee z)$
9.  $x \leq z \implies x \vee (y \wedge z) \leq (x \vee y) \wedge z$

*Proof.* 練習問題とする. □

**Exercise 1.5.** Lemma 1.4 を証明せよ .

**Definition 1.6** (分配束, モジュラー束, 完備束).  $L$  は束とする .

(1)  $L$  が分配的 *distributive* であるのは, 任意の  $x, y, z \in L$  に対して  $x \wedge (y \vee z) \leq (x \wedge y) \vee (x \wedge z)$  が成り立つときである . この条件はまた  $(x \vee y) \wedge (x \vee z) \leq x \vee (y \wedge z)$  が成り立つことに等しい .

(2)  $L$  がモジュラー *modular* であるのは任意の  $x, y, z \in L$  に対して,  $x \leq z \implies x \vee (y \wedge z) = (x \vee y) \wedge z$  が成り立つときである .

(3)  $L$  が完備 *complete* であるのは, 任意の  $M \subseteq L$  に対して  $M$  の上限が  $L$  の中に存在するときである . この条件はまた任意の  $M \subseteq L$  に対して  $M$  の下限が  $L$  の中に存在することに等しい .

**Exercise 1.7.** (1) Example 1.2 (1) が分配的かつ完備であることを示せ .

(2) Example 1.2 (2) が分配的であることを示せ . また完備な全順序と完備でない全順序の例を挙げよ .

(3) 束  $L$  が完備であるならば,  $L$  に最小元と最大元が存在すること, および任意の  $M \subseteq L$  に対して  $M$  の下限が  $L$  の中に存在することを示せ .

**Lemma 1.8.** 任意の束に対して以下の条件 (i)-(iii) は同値である :

(i) 任意の  $x, y, z \in L$  に対して  $x \wedge (y \vee z) = (x \wedge y) \vee (x \wedge z)$

(ii) 任意の  $x, y, z \in L$  に対して  $x \vee (y \wedge z) = (x \vee y) \wedge (x \vee z)$

(iii) 任意の  $x, y, z \in L$  に対して  $x \wedge (y \vee z) \leq (x \wedge y) \vee z$

*Proof.* 以下で等式の右に示されるアラビア数字は Lemma 1.4 の等式の番号を参照している . 交換律, 冪等律, 結合律は断りなく使う .

(i)  $\implies$  (ii):

$$\begin{aligned} (x \vee y) \wedge (x \vee z) &= ((x \vee y) \wedge x) \vee ((x \vee y) \wedge z) && (\because (i)) \\ &= x \vee ((x \wedge z) \vee (y \wedge z)) && (\because (i)) \\ &= (x \vee (x \wedge z)) \vee (y \wedge z) && (\because) \\ &= x \vee (y \wedge z) && (\because 4) \end{aligned}$$

(ii)  $\implies$  (iii):

$$\begin{aligned} x &\leq x \vee z \\ x \wedge (y \vee z) &\leq (x \vee z) \wedge (y \vee z) && (\because 6) \\ &= (x \wedge y) \vee z && (\because (ii)) \end{aligned}$$

(iii)  $\implies$  (i):

$$\begin{aligned} x \wedge (y \vee z) &\leq (x \wedge y) \vee z && (\because (iii)) \\ x \wedge (x \wedge (y \vee z)) &\leq x \wedge ((x \wedge y) \vee z) && (\because 6) \\ (x \wedge x) \wedge (y \vee z) &\leq x \wedge (z \vee (x \wedge y)) \\ x \wedge (y \vee z) &\leq (x \wedge z) \vee (x \wedge y) && (\because (iii)) \end{aligned}$$

□

## 2 ハイティング代数

**Definition 2.1** (相対擬補元).  $L$  は束であり,  $x, y \in L$  とする.  $x$  の  $y$  に対する相対擬補元 *relative pseudo-complement*,  $x \Rightarrow y$ , とは,  $L$  の部分集合  $\{z \in L : z \wedge x \leq y\}$  の最大元である.

**Exercise 2.2.**  $L$  は束とする. 任意の  $x, y, z \in L$  に対して, 次の (i)(ii) が同値であることを証明せよ:

- (i)  $z$  は  $x$  の  $y$  に対する相対擬補元.
- (ii) 任意の  $w \in L$  に対して  $w \leq z \iff w \wedge x \leq y$ .

**Definition 2.3** (ハイティング代数).  $L$  は束であるとする.  $L$  がハイティング代数 *Heyting algebra* であるのは, 任意の  $x, y \in L$  に対して  $x$  の  $y$  に対する相対擬補元が存在するときである.

**Lemma 2.4.**  $H$  はハイティング代数であり,  $x, y, z \in H$  とする. このとき以下が成り立つ:

1.  $y \leq x \Rightarrow y$ .
2.  $x \leq x', y' \leq y$  ならば  $x' \Rightarrow y' \leq x \Rightarrow y$ .
3.  $x \Rightarrow (y \wedge z) = (x \Rightarrow y) \wedge (x \Rightarrow z)$ .
4.  $(x \vee y) \Rightarrow z = (x \Rightarrow z) \wedge (y \Rightarrow z)$ .
5.  $(x \Rightarrow z) \vee (y \Rightarrow z) \leq (x \wedge y) \Rightarrow z$ .
6.  $(x \Rightarrow y) \vee (x \Rightarrow z) \leq x \Rightarrow (y \vee z)$

*Proof.* 練習問題とする. □

**Exercise 2.5.** Lemma 2.4 を証明せよ.

**Proposition 2.6.** (i) ハイティング代数は分配的である.  
(ii) 任意の有限分配束はハイティング代数である.  
(iii) 無限分配律を満たす完備束はハイティング代数である.

*Proof.*  $H$  はハイティング代数であるとする.

(i)  $x, y, z \in H$  を考える. Lemma 2.4 より

$$(x \Rightarrow (x \wedge y)) \vee (x \Rightarrow (x \wedge z)) \leq x \Rightarrow ((x \wedge y) \vee (x \wedge z))$$

$y \wedge x \leq x \wedge y$  より  $y \leq x \Rightarrow (x \wedge y)$ . 同様に  $z \leq x \Rightarrow (x \wedge z)$ . 従って  $y \vee z \leq (x \Rightarrow (x \wedge y)) \vee (x \Rightarrow (x \wedge z))$ .  
よって

$$y \vee z \leq x \Rightarrow ((x \wedge y) \vee (x \wedge z))$$

従って  $x \wedge (y \vee z) \leq x \wedge (x \Rightarrow ((x \wedge y) \vee (x \wedge z))) \leq (x \wedge y) \vee (x \wedge z)$ .

(ii)  $L$  は有限分配束,  $x, y \in L$  とする.  $L$  が有限だから  $\{z \in L : z \wedge x \leq y\}$  も有限である. そこでこの集

合を  $\{a_1, a_2, \dots, a_n\}$  とする .  $a = \bigvee_{0 \leq i \leq n} a_i$  とする . このとき

$$\begin{aligned} x \wedge a &= x \wedge \bigvee_{0 \leq i \leq n} a_i \\ &= \bigvee_{0 \leq i \leq n} x \wedge a_i \\ &\leq y \end{aligned}$$

したがって  $a \in \{a_1, a_2, \dots, a_n\}$  であり ,  $a$  は  $\{a_1, a_2, \dots, a_n\}$  の最大元 . よって  $a$  は  $x$  の  $y$  に対する相対擬補元である . よって  $L$  はハイティング代数 . (iii)  $L$  は無限分配律を満たす完備束であるとする .  $x, y \in L$  とする .  $L$  が完備だから  $\{z \in L : z \wedge x \leq y\}$  には上限が存在する . その上限を  $a$  とする . このとき

$$\begin{aligned} x \wedge a &= x \wedge \bigvee \{z \in L : z \wedge x \leq y\} \\ &= \bigvee \{x \wedge z : z \in L, z \wedge x \leq y\} \\ &\leq y \end{aligned}$$

したがって  $a \in \{z \in L : z \wedge x \leq y\}$  であり ,  $a$  は  $\{z \in L : z \wedge x \leq y\}$  の最大元 . よって  $a$  は  $x$  の  $y$  に対する相対擬補元である . よって  $L$  はハイティング代数 . □

**Definition 2.7** (ブール代数).  $L$  は分配束であるとする . 任意の  $x \in L$  に対して , 以下の条件 (i)(ii) を満たす元  $-x$  を  $x$  の補元 *complement* または逆元 *inverse* と呼ぶ :

- (i)  $x \wedge -x = 0$
- (ii)  $x \vee -x = 1$

任意の  $x \in L$  に対して補元が存在するとき ,  $L$  はブール代数 *Boolean algebra* と呼ばれる .

**Exercise 2.8.** 以下を示せ .

- (1) 補元は存在するならば一意である .
- (2)  $-(x \wedge y) = -x \vee -y, -(x \vee y) = -x \wedge -y$
- (3) 任意のブール代数はハイティング代数である .
- (4)  $H$  はハイティング代数で最小元を持つとする . 任意の  $x \in H$  に対して  $(x \Rightarrow 0) \Rightarrow 0 \leq x$  が成り立つならば  $H$  はブール代数であり ,  $-x = x \Rightarrow 0$  .